

巻頭言

長崎大学の「留学生教育・支援センター」は、外国人留学生および学部や大学院への入学前における日本語に関する予備教育を受ける外国人留学生等、並びに外国の大学等に留学する日本人学生に対して必要な教育および指導助言を行うことによって、本学における外国人留学生の受入れと日本人学生の海外留学の推進を図ることを目的に、学内共同教育研究施設として 2018 年 10 月に設立されました。

本学では、多様な価値観を持った学生の集う『キャンパスの国際化』を積極的に推進しています。このため、第 3 期中期目標・中期計画の KPI 指標としては、1)外国語による授業科目数&割合、2)日本人学生留学経験者数、3)教員に占める外国人および外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合、4)外国語力基準（当該基準を満たす職員数および全職員数に占める割合）、5)全学生に占める外国人留学生の割合が設定されています。当センターのミッションは、KPI 指標の 2)および 5)に直結しており、目標値達成に向けて鋭意努力を行っています。例えば、学長裁量経費を活用して当センター独自の受入プログラムによるサマーおよびウィンタープログラムを計画し、サマープログラムでは中国や韓国から 28 名を受入れました。2 月実施予定のウィンタープログラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために中止に致しました。これらの結果、2019 年 5 月 1 日現在の留学生受入数は、平成 30 年度を下回って目標達成に至らず、令和 2 年度も達成が困難になったものと推察されます。一方、通年での受入数は 2019 年 9 月末現在で既に目標を大きく上回る 1,000 名を超えており、令和 2 年度以降も目標はクリアできるものと確信しています。

文部科学省は、優秀な外国人留学生の戦略的な受け入れの一環として、外国人留学生の卒業・修了後の日本企業への受入を積極的に推進するために、「留学生就職促進プログラム」を平成 29 年度より開始し、12 拠点が採択されています。当該プログラムでは、ビジネス日本語やインターンシップの必修科目化および民間企業への就職が重要視されています。当センターとしても、初級、中級および上級クラスの日本語教育プログラムの継続的な改善だけで

はなく、就職支援のツールとしてのビジネス日本語のカリキュラムについても、教材作成から構築を始めて行くべきと思われます。

最後に、歴史あふれる街「長崎」に在る国立大学で、多様な文化と価値観を持った留学生同士が、あるいは留学生と日本人学生が触れ合うことで、寛容さとコミュニケーション能力が向上し、ある種の化学反応が生じて、新しい価値観や研究成果が協働で発信されることを大いに期待致します。とりわけ、当センターは留学生や日本人学生のさらなるキャリア・アップの一助になるために今後も邁進していく所存です。関係各位のご理解とご支援の程、何卒宜しくお願い致します。

長崎大学・副学長（国際交流担当）

留学生教育・支援センター長

寿 田 彰 秀